

# 総合診療科



## 1. スタッフ

教授	まつい 松井	くにひこ 邦彦
医員	まつだ 松田	けいし 圭史
(地域医療・総合診療実践学寄附講座)		
特任准教授	あらき 荒木	さとし 智
特任助教	さとはら 佐土原	みちと 道人
特任助教	きたむら 北村	たいと 泰斗
特任助教(河浦教育拠点)鶴田	つるだ 中村	しんぞう 孝典
特任助教(くまもと県北教育拠点)	なかむら 高柳	たかのり 宏史
(地域医療支援センター)		
特任助教	たかやなぎ 高柳	ひろし 宏史

## 2. 特徴・診療内容

総合診療科では、内科領域の一部門として、特定の臓器や疾患等によらない横断的な内科診療を提供している。どの臓器の問題なのか明らかでない場合や、多彩な症状を訴えるために受診する診療科が明らかでない患者の初期診療を、専任医師が行う。必要に応じて専門診療科への紹介や、総合診療科で継続した診療を行っている。基本的には、最先端・高度医療の提供は行わず、身体的な問題のみならず、心理的・社会的問題についても可能な限り対応する診療を実践するのが総合診療科外来の特徴である。

当科のスタッフ医師には総合内科専門医3名、家庭医療専門医4名、総合診療専門医1名が在籍している。

## 3. 診療体制

### 1) 総合診療外来

総合診療科(2名)、地域医療支援センター(1名)、地域医療・総合診療実践学寄附講座(2名)及び災害医療教育研究センター(1名)の医師で外来診療を担当している。

(月曜) 松田 [初診・再診]

(火曜) 松井 [初診・再診]・笠岡 [再診]

(水曜) 高柳 [初診・再診]

(木曜) 佐土原 [初診・再診]

(金曜) 北村 [初診・再診]

### 2) 救急外来(ER)

当科は総合診療外来に加えて、救急外来での診療も救急部医師と共にしている。

## 4. 診療実績

### 1) 総合診療外来

年度	外来新患数	外来再診数
2022 年度	194 名	844 名
2021 年度	171 名	723 名
2020 年度	163 名	656 名
2019 年度	217 名	731 名
2018 年度	227 名	793 名



診療科動画



診療科 HP

## 5. 地域医療への貢献

- 各地域への地域医療支援に関しては、くまもと県北病院、天草市立河浦病院、天草市立御所浦診療所、上天草総合病院、天草地域医療センター、小国公立病院、阿蘇医療センター、そよう病院、そして新たに荒尾市民病院において、外来診療支援及び当直診療支援を行った。
- 松井が熊本県地域医療対策協議会等の委員を務め医療政策提言を行っている。

### 1) 研究会やカンファレンス

- (1) 熊本総合診療研究会
- (2) 合同Webカンファレンス
- (3) 熊本大学総合診療セミナー
- (4) 総合診療グランドラウンド

## 6. 医療人教育の取り組み

### <教育拠点>

「地域医療・総合診療実践学寄附講座くまもと県北教育拠点(旧:玉名教育拠点)」は教育・研究・診療等全ての面において高い評価を得ている。また、令和3年4月1日に天草市立河浦病院に「河浦教育拠点」を設置し、総合診療科の専攻医が配属されている。

### <卒前教育>

#### ① 地域医療ゼミ

地域枠学生等(熊本県医師修学資金貸与学生)を主な対象に実施している地域医療ゼミは、今年度も新型コロナウイルスの影響もあり、主にリモートでの開催となった。義務履行期間中、勤務が必須となる地域病院を集めた病院説明会や「熊本県医師修学資金貸与医師キャリア形成プログラム」の説明、地域医療に係る講演等合計11回の活動を行った。

#### ② 熊本大学総合診療セミナー

地域枠学生等をはじめ、医学科学生、研修医及び総合診療に関心のあるすべての医療従事者等に対し、熊本県内(九州内)の総合診療医の連携強化及び他専門科への総合診療の知名度向上のため、毎年継続的に開催している。今年度は計4回開催。

- 6月22日 第9回 総合診療セミナー  
「ALPにもっと光を！」  
講師：飯塚病院 総合診療科 清田 雅智 先生
- 9月13日 第10回 総合診療セミナー  
「社会的処方～まちとのつながりで人が元気になる方法」  
講師 川崎市立井田病院  
腫瘍内科部長 西 智弘 先生
- 11月22日 第11回 総合診療セミナー  
「日常臨床をアップデートせよ！～診療で使えるアプリケーション10選～」  
講師 松本内科・眼科  
理事長 松本 朋樹 先生  
「日常診療を一步先～～diseaseとillnessを学ぼう～」  
講師 阿蘇医療センター 内科  
平賀 円 先生
- 3月29日 第12回 総合診療セミナー  
「コミュニティホスピタルとは」  
講師 医療法人博愛会 須田病院  
総合診療科長 吉田 伸 先生

### ③ 地域医療特別実習

地域医療特別実習は、将来、熊本県の地域医療に携わる熊本県医師修学資金貸与学生（熊大生）及び熊本県出身自治医科大学生が、地域医療の現場に接することによって、地域医療の現状を知り、問題点を自ら学び、さらには地域医療の魅力を見ることを目的として毎年夏に開催してきた。今年度は、令和元年8月以来3年ぶりに実施することを目指し、天草上島地域（上天草市、天草市御所浦地域）を対象地域として、8月9日、10日の日程で計画。しかしながら、新型コロナウイルスの第7波感染拡大の影響により本年度も中止せざるを得ない状況となり、やむなく7月末に中止を決定した。

### ④ その他授業、実習等

#### 【総合診療学】

本年度は、「身体診察概論」「臨床推論概論」「臨床推論演習」、および「総合診療概論」のテーマで、昨年同様全10コマを担当し、試験実施と評価を行った。

#### 【特別臨床実習（地域医療）】

当科では、医学部カリキュラムに基づき必修科目として、協力を得られた熊本県内の地域の拠点病院の中から選択させ、1ターム3週間の実習を提供している。本年度の参加施設は、そよう病院、小国公立病院、上天草総合病院、人吉医療センター、天草市立御所浦診療所、阿蘇医療センター、水俣市立総合医療センター、公立多良木病院、荒尾

市民病院、山鹿市民医療センター、天草地域医療センター、熊本労災病院及び熊本総合病院、天草市立河浦病院の計14医療機関にご協力いただき、計15タームのべ123名の学生に、地域医療実習を提供し、毎ターム最終金曜には大学にて振り返り会を行った。また5月には学生向けに動画視聴による説明会を実施した。

#### 【特別臨床実習（総合診療）】

大学病院、くまもと県北教育拠点、河浦教育拠点の3か所で実習を実施した。大学病院6名、くまもと県北33名、天草5名の合計44名に実習を提供した。

#### 【その他】

医学部からの協力依頼に基づき、公衆衛生学、臨床実習入門、について、当科教員、地域医療・総合診療実践学寄附講座教員及び地域医療支援センター教員で授業の一部を担当した。

#### ＜卒後教育＞

##### ① 臨床研修医

熊大病院群初期臨床研修プログラムで総合診療科（大学病院）を選択した初期臨床研修医4人に對し、総合診療・地域医療に関する教育指導を行った。

##### ② 専攻医

当科では、新専門医制度における「熊本大学総合診療専門医プログラム」の専攻医5人に對し教育指導を行った。

また、研修の支援・指導の充実を図るために、Zoomを用いた個人面談の頻回実施と、レジデントディは4回開催した。さらに、テレビ会議システムを活用し、毎月1回、症例検討を遠隔で指導するとともに、専攻医等の研究発表をテレビ会議システムを通じて各病院へ配信した。（合同Webカンファレンス）

本年度の当プログラムの応募状況は初期研修修了者が1名採用され、さらに他プログラムから専攻医が1名、当講座のプログラムに移籍し、計2名が新たに参加した。

##### ③ 大学院生

令和3年度から臨床疫学研究を中心に、総合診療関連の研究を行っている。大学院生の教育を含め、幅広いテーマを対象とした臨床研究を開始しており、令和4年度の入学者は1名であった。